

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくりセンター

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

日吉台まつりに名称変更、秋開催に

開催日 他の行事と調整、決定

学区のメイン行事、令和5年度夏まつり実行委員会の準備会が2月7日開かれ、今年開催予定のまつりは「秋開催」、まつり名称を「日吉台まつり」に改めることを決めた。6月に4年度実行委員、運営委員、参加メンバーらを招集し5年度実行委の体制づくりを検討することも合わせて申し合わせた。



学区の夏まつりは、新型コロナ禍による影響で令和2、3年と2年連続で中止。昨年は、実行委をリニューアルし3年ぶりの開催を決め、準備を進めてきた。しかしコロナ感染症は依然収束をせず、そのうえ例年になく早い梅雨明けに伴う猛暑

による熱中症リスクで、開催時期を秋に延期、10月22日夕「秋らめない夏まつり」として開催にこぎつけた。写真。昨秋の「秋らめない夏まつり」の開催後の検討会での反省点、留意点などを踏まえ、この日の準備会では、5年度のま

つり開催時期を中心に検討。開催時期を熱中症の心配のない秋開催で意見が一致、まつり名称も「日吉台まつり」と改称することも決めた。学区では例年秋のこの時期行事が集中し、もうひとつのメイン行事、学区民運動会の開催もある。準備会では、運動会とまつり準備が重ならないよう運動会と日吉台まつりの実施日を1か月以上間隔をあげ、他の行事と調整しながら具体的に実施日を決めることにした。

地域安全カメラ更新へ

老朽化を理由に、6基すべて

学区自治連合会は、学区内に設置している地域安全カメラ（防犯カメラ）6基について、老朽化などで更新時期にきていると判断、6基とも買い替えることを決めた。学区新年度予算案に設置費を計上する。

安全、安心のまちづくりを目指して学区自治連合会は、平成27年から29年にかけて学区内6カ所に計6基の地域安全カメラを設置、運用してきた。6基のうち3基は、滋賀



学区内に設置されている地域安全カメラ

「将来が不安」訴える声

4西地区、買い物アンケート

「四丁目西を愛する会」は、このほど4西地区の世帯を対象に「お買い物調査アンケート」を行った。高齢化に伴い、買い物に苦慮する世帯が増え、現状を掌握するためアンケートを実施したもので、買い物に「困っている」と答えた世帯は3世帯にどまつたが「将来が心

来に不安がある」は39世帯に上った。「買い物に困る」とした世帯は70代が1世帯、80代が2世帯。「将来に不安がある」世帯は、70代が圧倒的に多く28世帯、80代7世帯、60代が4世帯と続いた。今のところ買い物に不安を感じていないが、近い将来、体力や交通手段に不安を抱える世帯が数多くいることが判明した。

アンケートでは、周辺地域のスーパーなどで実施されている買い物サビスの認知度を複数回答で聞いた。「移動スーパー」の認知度が最も高く45世帯が「知っている」と回答、サポーターカー37世帯、手ぶら楽ちん13世帯、電話・コマサビ11世帯の順となった。近隣のスーパーについての知っている人は多く認知度は高かったが現在利用しているのは今のところ2世帯だけだった。

遮音壁工事、完成

湖西道路4車線化騒音対策

4東地区

湖西道路4車線化拡幅工事に伴い、学区4東地区を対象にした騒音対策の遮音壁設置工事が2月下旬完成した。

遮音壁は、高さ3メートル、銀白色のアルミ製。4東地区東端を南北に通る湖

西道路沿い約300メートル間に設置された。遮音壁西側には遮音壁から一段高くなった堰堤が再整備され防草シートで覆われた。また湖西道路と4東住宅側市道境界に設置されているフェンス下部

路面は、幅1メートルにわたってコンクリート舗装が施され、雑木などが生えない工事がおこなわれた。湖西道路4車線化工事完成、遮音壁など騒音対策工事後、改めて沿線で騒音測定が行われ、



完成した4東地区の遮音壁工事

騒音値が国の定めた環境基準値を超えることがあれば、国交省近畿地方整備局滋賀国道事務所と学区自治連合会との間で、

遮音壁のかさ上げ工事などの追加対策について協議することになっている。日吉台学区の東端を南北に走る湖西道路坂本北

ICー真野IC間、6基は、現在上下2車線で開通しているが、観光シーズンや朝夕のラッシュ時には車両が集中する交通渋滞の常習地。南行きは雄琴IC、北行きは坂本ICを先頭に渋滞が多発、沿線住民から早期の4車線化が望まれているほか、渋滞逃れの車が多数4東地区内を通り抜け学区住民からも改善策を求める声があがっていた。4車線化工事は、現在

の湖西道路東沿いの琵琶湖側に新たに2車線を整備、3基の中央分離帯をはさんで上下7メートル幅20・5メートルの4車線道路となる。4車線化完成後の通過交通量は1日4万7200台と想定されている。4車線化が完成すると、真野ICから藤尾南ランプまで通常24分かかっていたものが14分と最大で10分短縮すると国交省滋賀国道事務所ではみている。

6基すべて更新することを決め、2月開いた学区自治連合会定例役員会で更新を提案、予算化することが了承された。

愛する会では、アンケート結果から将来に不安を抱えている世帯には、現在行われている買い物サビートの利用を呼び掛けるとともに今後、会としてできるサポーターを検討してゆくことにしている。

下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加



◆終端付近見通し不良



制限速度を守り
終端付近では最徐行



駅頭でウクライナ支援の募金活動を行なう日吉子どもサミットの児童、生徒たち

日吉中学校校区の6小中学校の児童、生徒たちで組織する日吉子どもサミットは、戦火にゆれるウクライナを支援する募金活動を行い、1月17日滋賀県国際課と県国際協会を通じ県内に避難しているウクライナの人たちに支援金を寄付した。

本小、下阪本小、雄琴小、日吉台小の児童会と比叡山中、日吉中の生徒会で組織。昨年8月のサミット会議で、SDGsとロシアによるウクライナ侵攻を学習、ディスカッションを行い、ウクライナ支援募金活動を行うことを決めた。

決定後1月に入り、各小、中学校が独自に募金活動を開始、統一募金活動開催日の1月12日朝、各学校の児童、生徒らが、JR比叡山坂本駅、雄琴温泉駅、京阪坂本比叡山口駅の3駅に分かれて駅頭にたち支援の街頭募金活動を実施、計13万661円が集まり、寄付した。

ウクライナ支援募金活動を行ない、寄付

日吉子どもサミット

地域文化活動発表の場で集会盛り上げ

日吉ブロックPTA教育研修会「春の集会」

日吉中学校の第44回「春の集会」日吉ブロックPTA教育研修会（日吉ブロックPTA連合会、日吉コミュニティ・スクール、日吉学区教育総合推進会議主催）が2月18日、同中体育館で開かれた。



プロが日ごろの練習の成果を披露、観覧者の拍手を浴びていた。また地域活動ステージの合間、「わが家のルールづくり」作品披露と表彰式が行われた。（集会で熱演を披露する日吉台学区のオバサンバ）

この春の集会は、新型コロナウイルス感染症の影響で2年連続で中止となり、今回は3年ぶりの開催。これまでの集催は、地域の子どもたちによる発表や教育講演会などをしてきたが今回、地域で文化活動するグループや団体の地域活動ステージを設けることにした。

「地域の人に役立てて」の願い込め

夢プロ事業のテーブルや椅子完成

日吉台

日吉台小中庭のフジ棚下をみんなが集える場所に、と日吉台小学校の夢プロジェクト、同小6年生児童が製作していた木製のベンチやテーブルが完成、2月22日、同小集会室で完成披露会が行われた。同小が実施する夢プロジェクト事業の第2弾。今年は6年生19人が手づくりの木製ベンチ、テーブル、椅子などを製作、設置することを決め、1学期末に子どもたちがデザイン、3丁目東の能面作家、吹田照義さん、自主防犯推進会長の山下英子さん、学区スポーツ振興会長の上嶋徳久さんから3人がサポーターとして応援に駆けつけた。



日吉台小集会室で行なわれる夢プロ事業の完成披露会

われていたが、下阪本の共和木材工業の森江秀行社長が協力、材料の木材調達に尽力した。子どもたちは、吹田さんが製材、加工した部材を椅子、テーブルなどに組立て、ヤスリで表面を磨き、防腐剤などを塗って完成させた。出来上がったのは、テーブル6席、椅子25席、ベンチ4基。完成披露会は当初、中庭フ



夢プロ事業で、椅子を組み立てる6年生児童

困ります!そのオシッコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意（ビニール袋、水入りペットボトル）をしましょう。

大津市動物愛護センター

ジ棚下で行なう予定だったが、前日からの積雪で急きよ会場を集会室に変更、完成した椅子、テーブル、ベンチを使つて実施。6年生児童の代表が、製作サポーターの吹田さんらに「学校や地域の人たちの役に立ちたいという願いを込めて製作しました」と感謝の言葉を述べていた。

市街灯+私街灯

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ✓ 夜道も明るくて安心
- ✓ 泥棒に狙われにくい街づくり



- ・ 門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推薦されています。
- ・ 電気代はLED電球（40W電球相当）の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。